

## 防災講座・講演会を開催する

開催に向けて	地域に合ったテーマを決め、学識経験者や防災リーダーなどに講師を依頼し、講演会を実施しましょう。住民に分かりやすい講話を行うことで、防災意識が向上します。
必要なもの	●講演会の時間割 ●開催案内チラシ ●参加者への配布資料 ●実施に必要な資機材 ●会場 ※詳しくは“活動のためのツール”の「防災講座・講演会を開催する」を参考にしてください
対象者	●地域住民
お問い合わせ	●講師：広島県自主防災アドバイザー制度（消防保安課：082-513-2790） 出前講座（地域の自治体にお問い合わせください）

### STEP 1 テーマを決め、講師を依頼します

地域で起こりうる災害、アンケート結果などから、講座や講演会のテーマとおおまかな日程を決め、講師を依頼します。

#### ■講演会のテーマ例

自主防災活動とは／近年発生した災害／身近な防災対策 など

### STEP 2 時間割を作成します

日程と会場を確定し、開催時間、当日の時間配分、役割分担を決め、時間割を作成します。

#### ■決めておく項目

- ・日程、会場、開催時間、講師の講話時間
- ・司会・進行・挨拶などの役割分担 など

### STEP 3 実施に向けて準備を行います

必要な資機材の調達、開催案内チラシの作成・配布など、実施に向けて準備を行います。

### STEP 4 講座・講演会を実施します

作成した時間割に沿って、講演会を実施します。

#### 実施のポイント

- ・講演会のテーマは、“誰にどのようなことを聞いてもらいたいのか”という視点から検討することも防災意識啓発には有効です。
- ・講演会は定期的開催し、テーマを変えながら広く防災意識を啓発していきましょう。
- ・講座・講演会時には、アンケート調査を併せて行うことで、今後の自主防災活動に役立つ意見が収集できます。



## 防災講演会の実施例

実施地域	広島市安佐北区 高南地区自主防災会連合会
実施日	平成28年2月14日
参加者	地域住民 約200名
実施概要	地域住民の防災意識向上を目指し、専門家や自主防災アドバイザーを講師とした講演会を実施した。

### 実施までの流れ

#### 日程やテーマの決定

12/11 実施

主要役員が集まり、講演会のテーマ、日程、会場を決定しました。講演会のテーマは地域住民の防災意識向上を目指し、気象情報と防災、地域における自主防災活動に関する講話としました。



#### 住民広報と講師の依頼

12月末配布

講演会の日程、会場、講師の情報をまとめたチラシを作成し、地域住民に配布しました。講師については、広島県自主防災アドバイザー制度へ依頼しました。

チラシの作成：マニュアル P.6 参照

#### 資料や機材の準備

1月中準備

講師と相談しながら、参加者に配布する資料や必要な機材を準備しました。準備が困難な機材などについては、地域の自治体に相談してみましよう。

準備品：活動のためのツール「防災講座・講演会を開催する」参照

#### 講演会の実施

2/14 実施

講演会を実施しました。講演会に合わせ、参加者の防災意識と関心のある取組みを知るため、アンケート調査を実施しました。



アンケート調査：マニュアル P.23 参照



活動メモ

#### 【活動で困ること】

- ① 講演会のテーマが決まらない。
- ② 参加者が集まらない。

#### 【改善案】

- ① 中山間地では“過疎化や山の荒廃”、市街地では“つながりの希薄化や防犯”など、身近な問題をテーマとすることも、防災意識の向上につながります。また「災害体験談」など、過去に起きた災害について話を聞くことも非常に有効です。
- ② チラシを使った事前周知が効果的です。「チラシを作成し活動を周知する」の項目を参考にしてください。また、地域行事と合わせて実施することも有効です。※実施前に、地域の自治体や広島県に相談してみましよう。